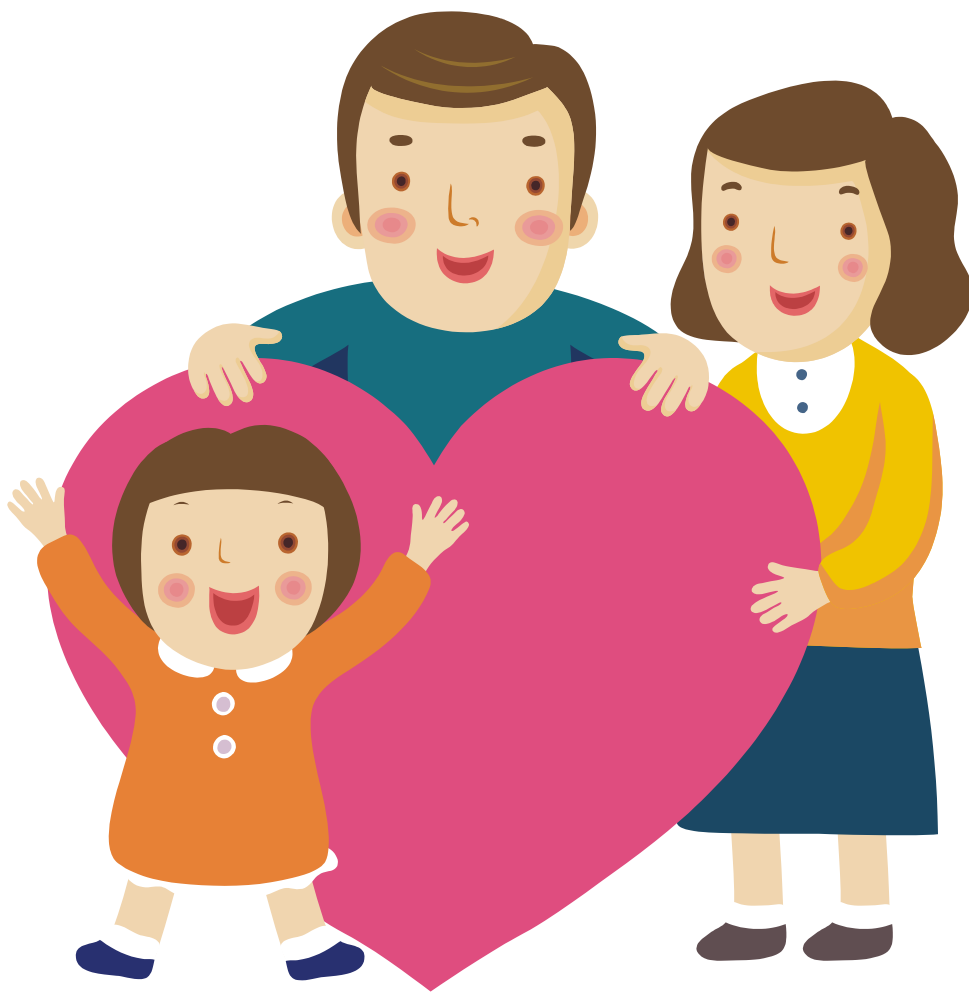

いしかりの家計簿 2011

速報版

A Housekeeping Book of Ishikari City



石狩市

1 はじめに

今、本市を取り巻く財政環境は、景気後退による税収の急激な落ち込みなど歳入環境は先行きが不透明であり、また、少子高齢化に伴い増え続ける社会保障関係費を始め、今なお高水準にある公債費負担など、本市の財政環境は、依然厳しい状況が続いています。

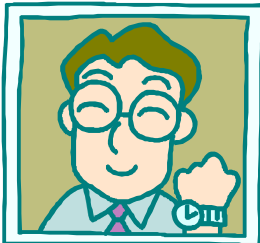
そのため、本市では、直面する財政危機を乗り越えるため、平成18年度に「財政再建計画」を策定し、平成19年度から5年間で収支バランスの均衡を図るという目標を掲げ、「事務事業の見直し」を基調とした「歳入・歳出一体改革」に取り組んだ結果、赤字体質を脱却し、実質的な黒字決算へと転換を図ることができました。

今後、石狩市が真に自立し、市民の皆様方にとって暮らしやすいまちになっていくため、市職員が知恵を結集し、改善に向け努力をしております。市民の皆様方には、この「いしかりの家計簿」をご覧ください、現在本市がおかれていた状況を確認していただければと思います。

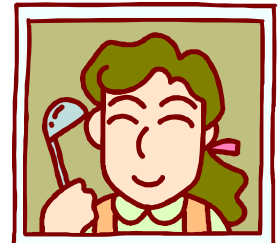
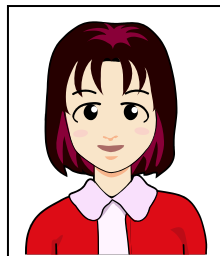
2 家族構成

「いしかりの家計簿」では、平成22年度決算（計画4年目）における歳入・歳出の財政状況を、あるご家庭の毎月の家計に例えてご説明しております。

なお、その家庭は、下記のとおり市郎さんと市子さんのご夫婦と子ども3人（長女^{とくえ}特会^{とくえ}さん・長男市太郎君・次男市之介君）の5人で構成されています。



夫：市郎さん
41歳の会社員



妻：市子さん
38歳の専業主婦

^{とくえ}
長女：特会さん
19歳の大学1年生
で、現在一人暮らし

長男：市太郎くん 次男：市之介くん
産まれたばかりの双子の兄弟

※ ^{とくえ}特会さんの名前の由来 … 特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別するために特別~~会~~計を設置できます。市では、平成22年度時点で国民健康保険などの12の特別会計を設置しています。

また、次の会話に出てくる金額は、平成22年度の市の普通会計決算額を人口（平成23年3月末：60,878人）で割ったものとなっております。

3 ある日の会話

	お父さん、お母さん。毎月の支出が収入を超えないための計画 [※] を作って4ヶ月目（平成22年度）になったけど、これまでの3ヶ月間（平成19・20・21年度）と比べて今月（4ヶ月目）の結果はどうだったの？
	給料がなかなか増えなくて大変だったけど、これまでの3ヶ月間の努力が実を結んで、我家の家計にも成果として表れているよ。
	今月（平成22年度）の給料の内訳はいくらだったの？
	今月は、基本給（市税などの自主財源 [※] ）は15万円で先月と同じだったけど、諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源 [※] ）が23万1千円で先月より5千円増えたんだ。合計で38万1千円だったよ。
	その他に、前の月からの繰越金が9千円と、家具の購入のために4万1千円ローンを組んだわね。 つまり、我が家の今月（平成22年度）の借金を含めた収入は、合計で43万1千円になるわね。
	うん。これで4ヶ月続けて貯金の取り崩しをしないで済んだよ！ [※] やったね♪
	……。ホントお父さんはいつもいつも…。先月から基本給は変わってないし、ローンも組んでるんだからね。喜んでる場合じゃないわよ！
	う…、お母さんは相変わらず厳しいな。最近、景気が前よりちょっと良くなったとは聞くけど、実際にはまだまだで、基本給は下がり気味なんだ。今月は諸手当が増えたから何とか乗りきれたけど、これからどうなるか先行きは見通せないね…。 ところで支出の方はどうだったのかな？
	ちょっと待って。家計簿を見るから。えーと、 食費（人件費 [※] ）が7万円、教育費・医療費（扶助費 [※] ）が7万2千円、ローン返済（公債費 [※] ）が5万6千円、光熱水費（物件費 [※] ）が5万4千円、家の修繕費（維持補修費 [※] ）が1万9千円、サークル等各種会費（補助費等 [※] ）が5万4千円、特会への仕送り（繰出金 [※] ）が4万2千円、テレビの購入（建設事業費 [※] ）が4万4千円、預金（積立金 [※] ）が1千円、株式投資（投資及び出資金 [※] ）が1万円で、合計で42万2千円だったわ。
	支出は特に教育費・医療費が増えたわね？ 今月から私が資格の取得に向けて簿記の予備校に通ったからかなあ。
	そうだね、予備校の受講料とかで支出が先月より増えたけど…、でも、今月も貯金もできたし、家計は順調にきてるんじゃない♪
	お父さん！！ホント何をのんきなことを言っているの！？ 確かに、今月は計画4ヶ月ということで、着実に効果が表れているけど、毎月の基本給は上がってないし、諸手当だって来月もあるとは限らないんだから。まだまだ安定した家計とは言えないし油断できないのよ！

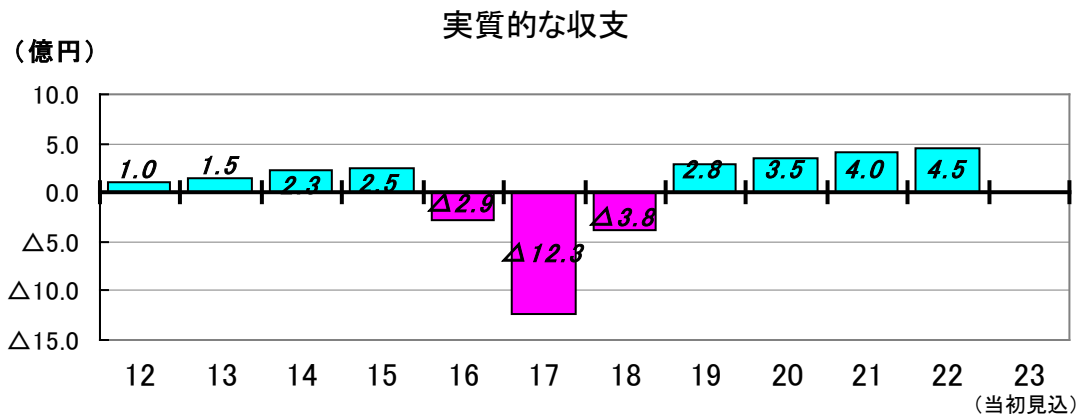
	そうだね、今年は台風で家の壁が壊れて修理代が結構かかったりしたし、また突然の大きな出費があったりすることも十分考えられるもんね？ そうしたことに対応できる貯金が必要だね。
	その通りよ、お父さん。これから特会の将来のための教育費や、お父さんも病院に通ったりしたら医療費だってますます大きくなっていくわ。 まだ景気も回復しそうにないから、お給料だって減っていくことも考えられるのよ。だから、残りの1ヶ月もただ単に計画を実行するだけじゃなく、<u>その時の状況に応じてより効果のある取り組みにしていかなければだめなのよ[※]</u>。
	計画の見直し…。先月もお母さんが言っていたように、計画も作りっぱなしだと、だんだん実情に合わなくなってくるから、きちんと見直していかないといけないね。
	まだまだ貯金を取り崩さずに済んだからといって安心できる家計じゃないんだから。計画を着実に実行して、市太郎・市之介、子どもたちのためにもこれからも安定した家計を続けていけるように、しっかり貯金しないとね！！
	よ～し。じゃあ、お母さん。あらためて気を引き締めるために、残り1カ月に向けてのポイントをチェックしよう！
	うん。まず支出面については、 ・出費の内容をもう1度全て点検し、本当に必要かどうかを常にチェックする。 ・ローンを組まなければならない出費については、極力最低限度にとどめる。 この2つは前から言ってるように常に心がけること。 まずは、本当に必要な出費かどうかチェックして、削れるものは削っていかないと。場合によっては出費の内容に優先順位をつけていくことも必要ね。 それに、出費の重荷になっているローンの返済をどんどん減らしていかないといけないから、なるべく新しいローンを組まないように気をつけないとね。 それから、収入面についても、お父さんのお給料が上がればもちろんいいんだけど、他にも我家で使っていない財産をオークション等でどんどん売って生活の足しにするといろいろ工夫をしていくのよ！
	そうよね。弟たちにもこれからもっとお金がかかるし、私も仕送りを少しでも減らしてもらおうとか、できることは何でも協力するわ。この計画は何よりも私たち家族みんなで取り組まなければ達成されないからね。
	ありがとう、特会。さすが、おねえちゃんだね。
	うん。1ヵ月後に家族みんなで笑えるように頑張ろうね！お父さん、お母さん！！

※1 基礎体力を徹底的につける計画とは？

本市では、これまで財政構造改革を積極的に推し進めるなど、財政構造の健全化に取り組んで参りましたが、市税と地方交付税の大幅な落ち込みにより、恒常的な財源不足に陥っていました（下記『実質的な収支』参照）。

そこで19～23年度の5年間で、収支バランスを黒字化に改善することを目標とする『石狩市財政再建計画』を策定しました。

本計画は、全事業の見直しや管理経費の削減、投資的事業の厳選等7つの基本戦略を柱に、徹底した財政構造の改革を推し進めることを目的としております。詳しくは別紙『石狩市財政再建計画』をご覧ください。



【財政再建計画数値目標】

項 目	目 標 値	22年度(速報値)
経常収支比率※1	90%未満	88.4%
市債残高(人口1人当たり)	50万円未満	53万円
実質公債費比率※1	13%未満	11.9%

※1 経常収支比率・実質公債費比率

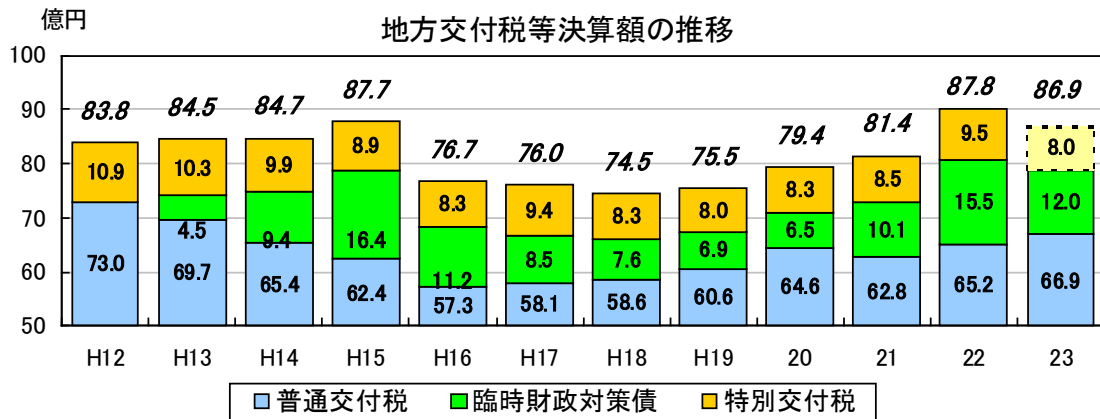
経常収支比率～人件費、扶助費、公債費など毎年経常的に支出される特定の財源をもたない経費を、毎年経常的に収入される一般財源で割った比率。低いほど臨時的な経費にまわす財源を確保できることになり、高いほど経常的な経費が財政を圧迫し、財政構造の弾力性が低いということになります。

実質公債費比率～標準的な一般財源に対する公債費相当額（公営企業繰出金、一部事務組合負担金及び債務負担行為による支出額中の公債費に準じる経費を含む。）の割合。

※2 自主財源と依存財源

自主財源とは、市税、使用料・手数料、諸収入など、市がみずから直接調達できるお金のことであるのに対し、依存財源とは、国庫支出金、道支出金、地方交付税などのように、国や道などに依存している財源をいいます。

また、依存財源のうち、普通交付税については、合併後10年間（石狩市の場合H18～H27）に限り、旧3市村が合併していなかった場合にそれぞれがもらえていたと考えられる交付税を合算した額がもらえます（しかし、11年目（H28）以降については、5年間で段階的にその額が引き下げられていきます）。

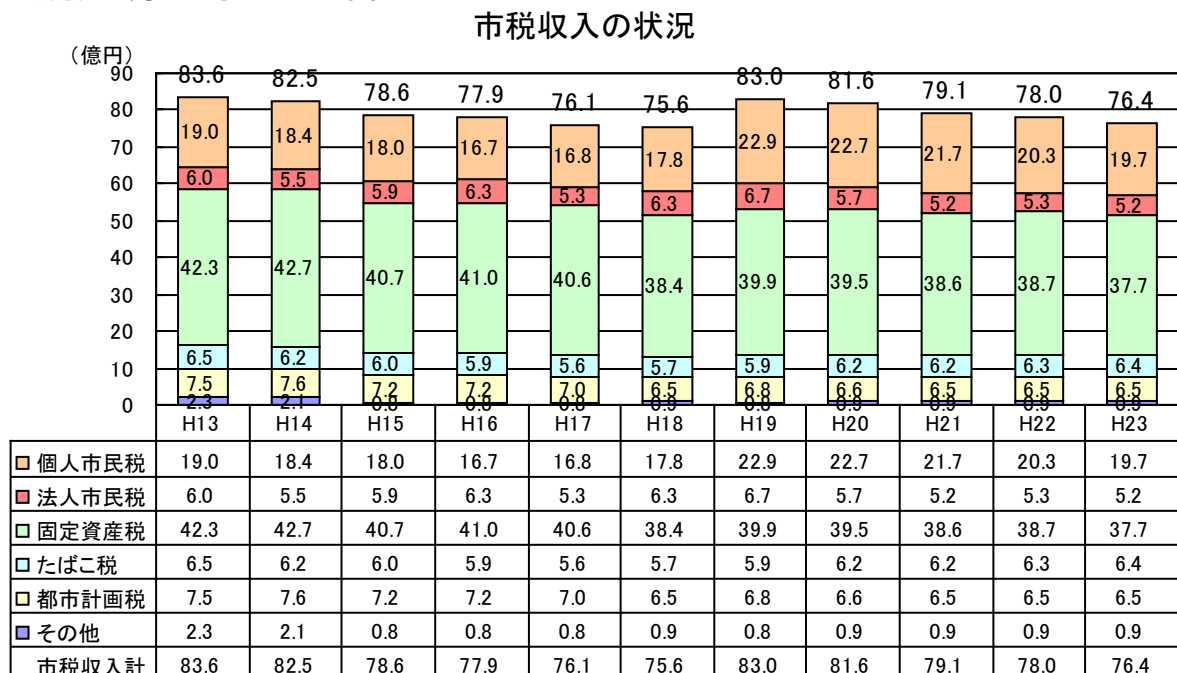


注：H23 特別交付税は予算ベース

※2 自主財源（市税）の推移

自主財源の大部分を占める市税は、市が自主的にまちづくりを進めるうえで、重要な役割を果たしています。平成18年度は、ピーク時に比べて12億円近く減少しましたが、平成19年度は、三位一体の改革による国からの税源移譲（所得税→住民税）が行われたことにより、増収へと転じています。

しかし、税収に関する今後の状況については、景気低迷を背景とした、企業の業績悪化による法人市民税の落ち込み、また、個人の所得減少による個人市民税の落ち込み等から、減収になる可能性が高いと考えています。



注：H23 は予算ベース

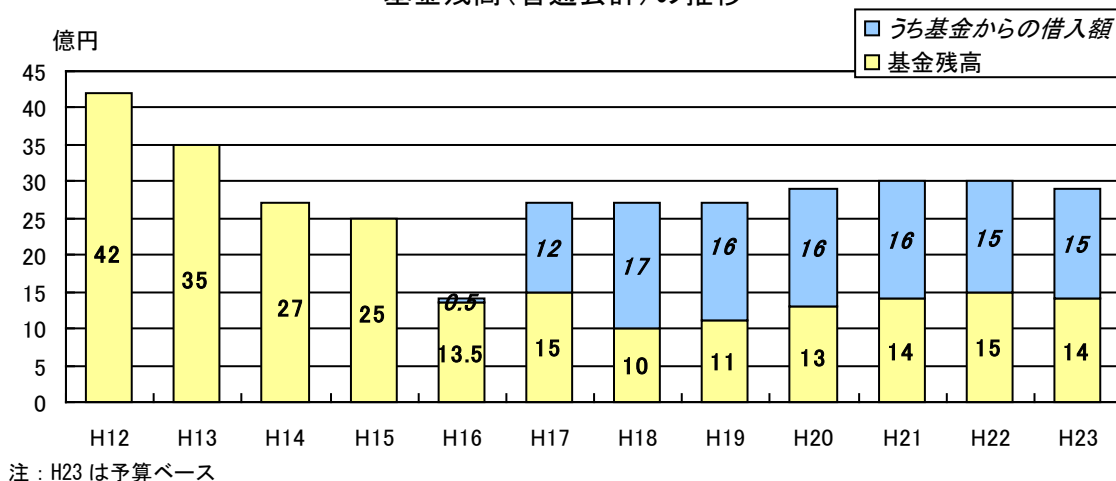
※3 預金の取り崩し・借金

家庭における貯金を市では基金と呼んでいます。その種類には年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金、地方債の元利償還金の財源に充てるための減債基金、合併まちづくり基金など特定目的のための基金があります。

財政調整基金及び減債基金については、すでに底をついています。そのため、近年は本来特定の目的のために利用する他の基金から一時的にお金を借りて、歳入の補てんを行っていましたが、その基金の現金もほとんど底をついているため、今後は預金に頼れない状況になっています。

平成22年度決算では、前年度に引き続き基金からの借入を行わなくても、収支の均衡を図ることが出来ました。今後も、この状況を維持し、弾力性のある財政運営を確立していきます。

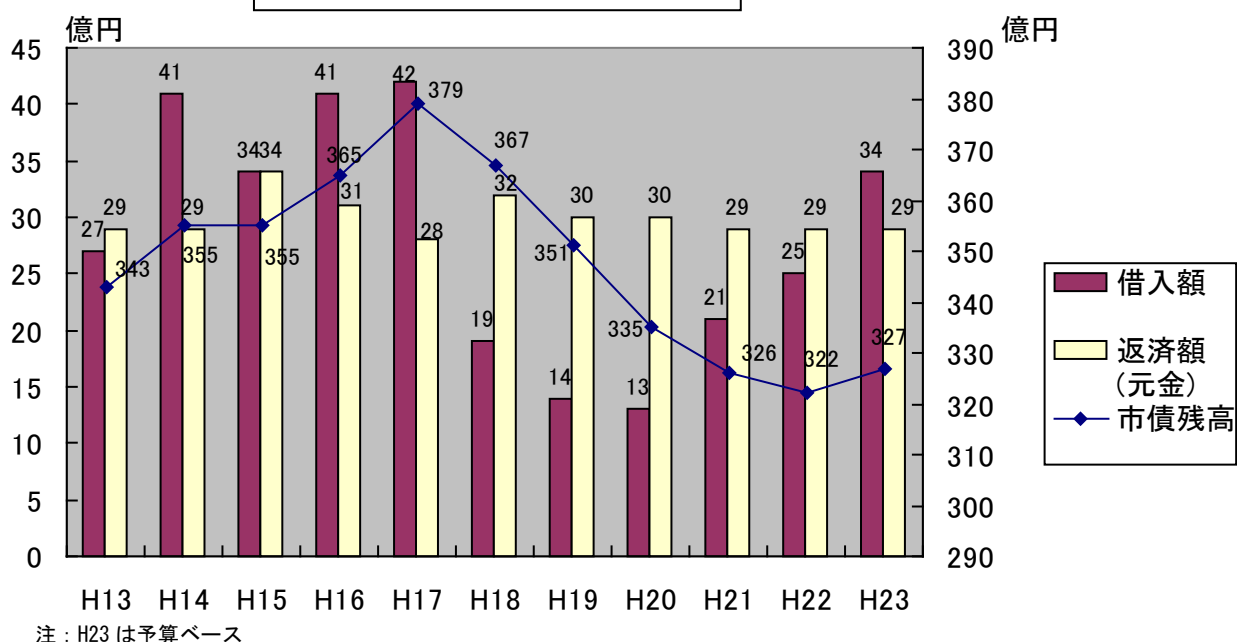
基金残高(普通会計)の推移



市の借金については、地方全体の財政状況の悪化に伴う財源対策などにより、近年は増加傾向にありました。

しかし、平成18年度に行った市債の借換えや、財政再建計画に基づく新規発行額の抑制などにより残高は減少に転じています。今後も財政再建計画に則り、新たな市債発行の抑制を図り、減少基調を継続させていきます。

市債の借入額と返済額(普通会計)



※4 人件費、扶助費、公債費？

市の支出を性質別に分類したときに用いられる経費が、人件費、扶助費、公債費などです。

これらの用語は、家庭においては普段使われていないものが多いことから、「いしかりの家計簿」では人件費を食費、扶助費を教育費・医療費、公債費をローン返済などのように置き換えています。

なお、人件費などの説明は次のとおりです。

経費区分	内 容
人 件 費	職員の給料や手当及び議員報酬などの経費。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを援助するための経費。
公 債 費	借入金の元金や利息を支払う経費。
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の維持・運営などの委託経費。
維 持 補 修 費	公共施設の補修などの経費。
補 助 費 等	様々な団体などへの補助金、港や消防など市町村等の事務の一部を共同で処理するために設立された組合への負担金などの経費。
繰 出 金	国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計に支出する経費。
建 設 事 業 費	道路、公園、学校等の公共施設を建設するための経費。
積 立 金	収支不足を補てんする基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金。
投資及び出資金	財団法人などへの出資などのための経費。

※5 効果のある計画？

弾力性のある財政構造の確立を目指し、「石狩市財政再建化計画」は策定されました。

今回の再建計画は、赤字再建団体の回避、更には財政収支の均衡を図るという絶対的な命題が目標として掲げられているため、今までの改革以上の質が求められます。

そこで、再建計画をより実効性のあるものにするため、PLAN（計画）-DO（実行）-CHECK（評価）-ACT（改善）（以下PDCA）を1サイクルとするチェック体制を確立しています。

平成23年4月には第4次改訂版を公表しました。「事務事業の見直し」による効果額や「中期財政見直し」について、平成21年度決算及び平成22年度の最終予算や平成23年度当初予算を反映しました。今後も時機に見合った計画にするために、引き続き、見直しを行っていきます。

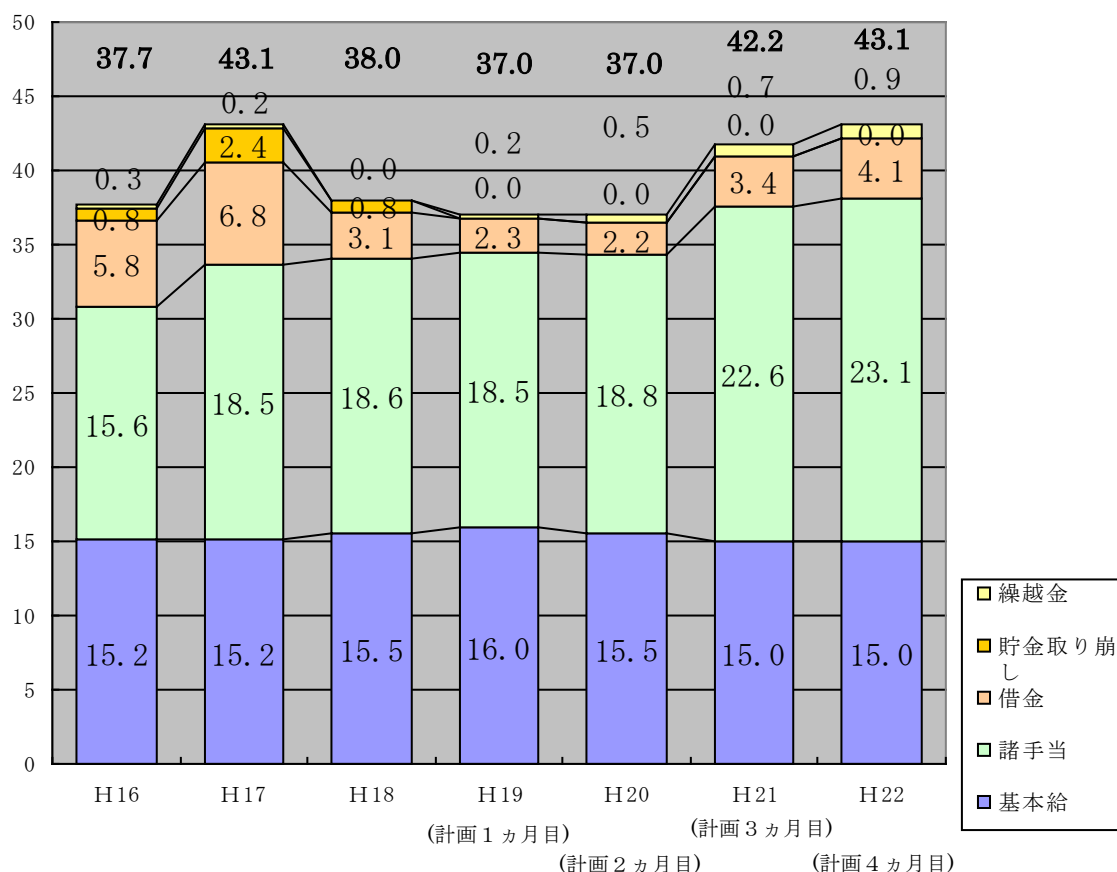


～毎年の家計簿から見る収入・支出の推移～

【収入の部】

収入（合計）

（単位：万円）



注：H16の数値は旧石狩市のみ、H17以降の数値は合併後数値



（お父さんから一言）

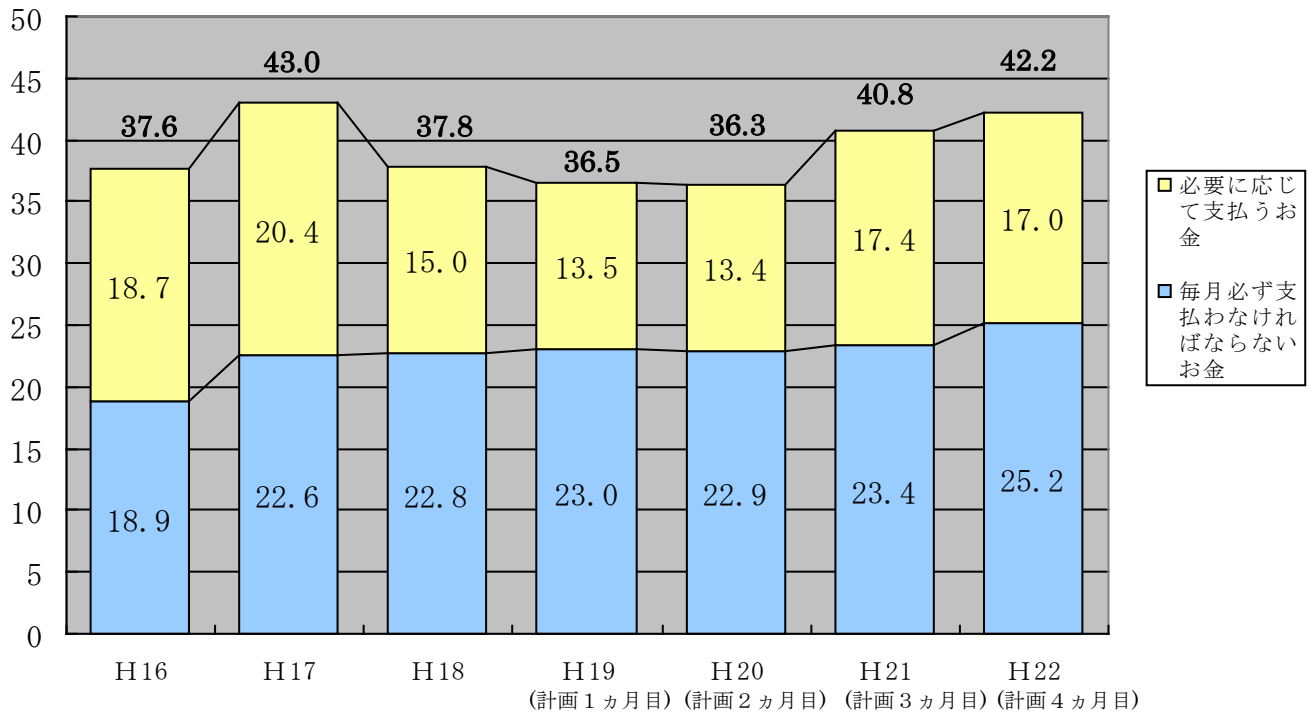
今月（H22）も景気がまだ上向かず、会社の業績も回復しなかったため、基本給は先月（H21）と変わりませんでした。諸手当が先月と比べて増えたこともあり、今月の収入全体としては先月よりも増えました。

先月に引き続き、貯金の取り崩しを行わなくても支出を賄えましたが、今後お給料の先行きは見通しがたないですし、全体の収入額は何かしなくては減少していく可能性もあることから、お母さんが言っていたように計画に沿って安定した家計にできるように頑張ります！！

【支出の部】

支出額(合計)

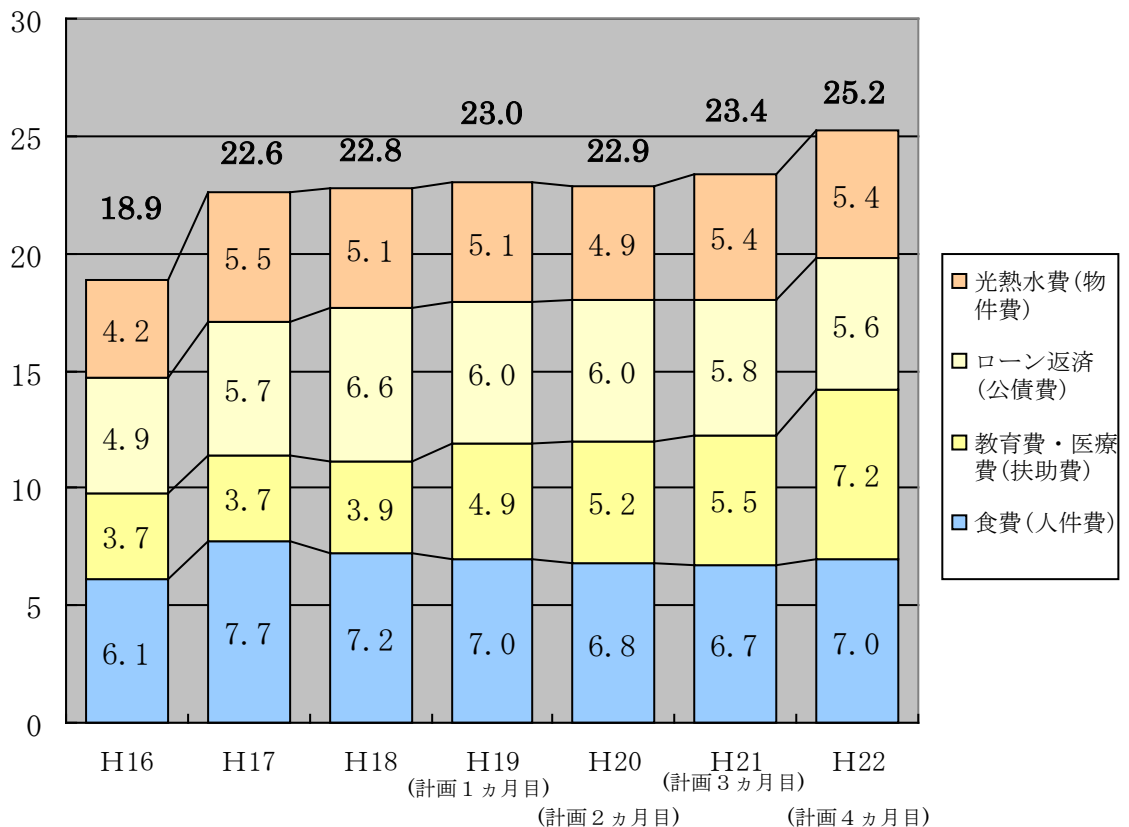
(単位：万円)



注：H16の数値は旧石狩市のみ、H17以降の数値は合併後数値

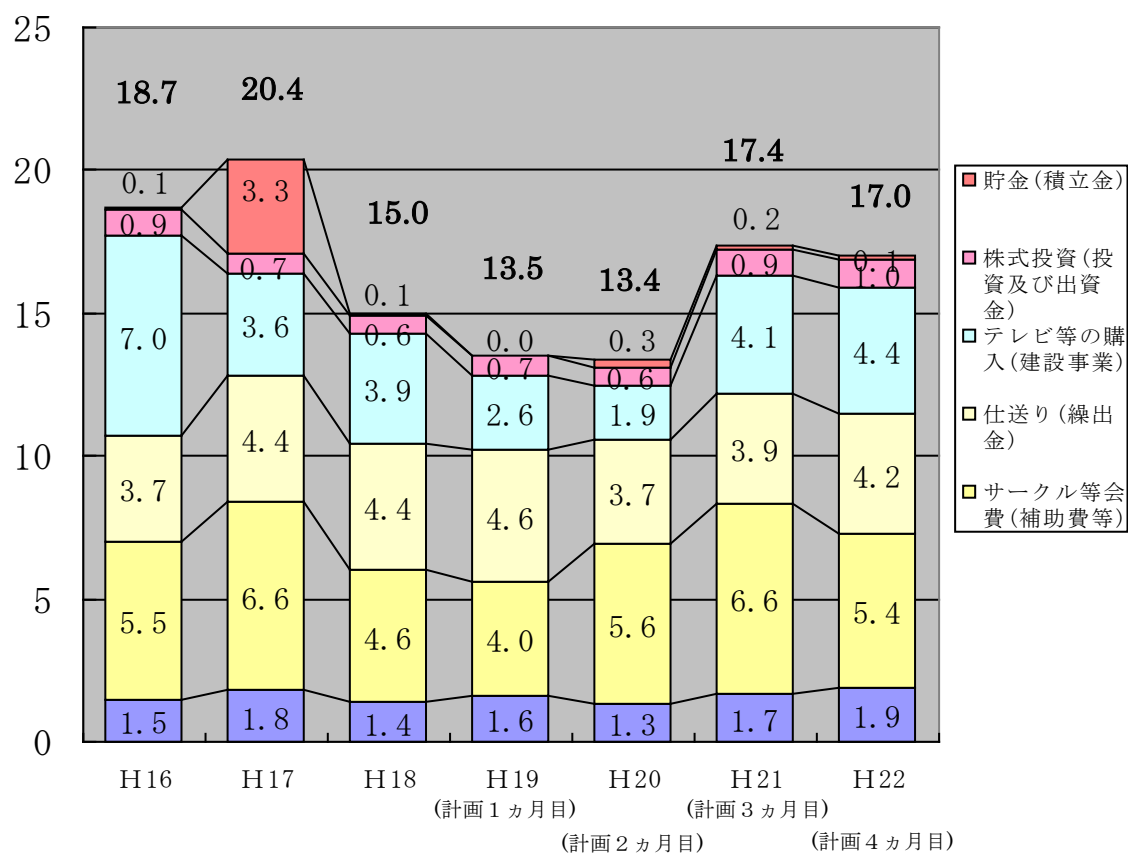
毎月必ず支払わなければならないお金

(単位：万円)



(単位：万円)

必要に応じて支払うお金



(お母さんから一言)

計画4ヶ月目も赤字を出さないで家計は良い方向に進んできているわ。でも、今後も安定した家計になるように、最後の1ヶ月も気を抜かずに家計のやりくりにも努めるわ！そのためには、まだまだ出費の重荷になっているローンの返済をどんどん減らしていかないとね。計画を守って、新規のローンを極力組まないように気をつけるわ。

計画自体もその時々状況を加味して、より実効性の高いものにしていくわ！



4 おわりに

いしかりの家計簿を作成して9年目になりました。

この間、三位一体の改革や3市村合併、そして財政再建計画の策定と石狩市の財政を巡る環境は目まぐるしく変化してきました。

「家計簿」内での給料や食費などの金額は、すべて石狩市の平成22年度決算額を平成23年3月末現在の人口で割った金額を用いているため、実際の家庭における家計簿とはかけ離れているかもしれません。今後の市の財政がどうなっているか、お父さん・お母さん・特会さんを通じてお知らせして参りますので、これからの動向についても引き続きご覧下さい。

また、今後さらに創意工夫を重ね、内容の充実に努めてまいりますので、お電話やFAX、Eメールなどで「いしかりの家計簿」を読んでのご感想をお聞かせ願いたいと思います。

最後になりますが、この小冊子が、市民の皆さんに石狩市の財政状況をご理解いただくための一助となっていただければ幸いです。



発行：平成23年10月

編集：石狩市財政部財政課財政担当

TEL：(0133) 72-3154

FAX：(0133) 75-2275

E-mail：zaisei@city.ishikari.hokkaido.jp

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2

